

まちさんほ  
街散歩

特別編

東京

今回の街散歩は、25周年記念号ということで「特別編」を用意した。大都市「東京」の今昔を、写真で追いかけてみようというものである。懐かしい東京、新しい東京の表情を、一息ついてご覧あれ。

品川  
しながわ

品川駅東口

品川駅東口は、つい数年前まで右下の写真そのままだった。ホームから改札までの、長く暗い地下通路を記憶している方も多いだろう。しかし、品川インターシティをはじめとする東口の大規模再開発で、駅前広場を整備。今年春には5棟の超高層ビルが竣工し、秋には新幹線の新駅も開業する。これからは楽しみなエリアである。

●品川駅東口(昭和37年)



©港区立みなと図書館

●品川駅東口(昭和56年)



©港区立みなと図書館



●新橋駅西口広場(昭和34年)



◎港区立みなと図書館

“鉄道創業の地”として知られる新橋。現在の新橋駅は、大正3年に京浜線が開通したときの「烏森駅」で、当時の新橋駅は貨物専用の旧駅「汐留駅(現在は汐留シオサイト)」だった。西口広場は、太平洋戦争後にいち早く露店の闇市が開かれた場所で、上の写真はその面影を色濃く残している。

# 新橋

しんばし

新橋駅西口



# 東京

とうきょう

東京駅

東京駅丸の内駅舎は大正3年に開業したが、昭和20年の東京大空襲で3階部分と円形ドームを焼失。戦後、修復工事が行われたが、物資欠乏のため完全な復元ができず、2階建て・八角屋根の姿で現在に至った。しかし、2010年度末には、創建当時の姿に復元される予定だ。銀の鈴広場は、昨年12月にリニューアルされたが、肝心の鈴はここにはない。

●東京駅 丸の内駅舎(創建時)



◎東日本旅客鉄道(株)

●JR東京駅 銀の鈴広場(昭和63年)



◎東京都



# 有楽町・銀座

ゆうらくちょう・ぎんざ

江戸時代には、貨幣製造所・銀座が置かれていた。明治初期に煉瓦街が建設され、文明開化の象徴となる。第一次世界大戦後には、“銀ブラ”という流行語が生まれた。有名だった柳並木は、昭和43年の歩道大改修で姿を消している。昭和8年に誕生した日本最大の映画館「日劇」は「有楽町マリオン」に替わり、旧都庁跡地には、「東京国際フォーラム」が建っている。

●新橋側から銀座四丁目方向を望む<中央通り> (昭和30年)



©東京都

●有楽町駅付近<晴海通り> (昭和29年)



©東京都

●日劇と朝日新聞社 (昭和55年)



©東京都

●銀座四丁目 交差点付近 (昭和42年)



©東京都

東京国際フォーラム



有楽町マリオン



●佃大橋より佃島を望む(昭和50年)



©東京都



# 佃島

つくだじま

江戸時代には漁師町と呼ばれ、佃島沖で行われる白魚漁は江戸の風物詩の一つとされた。佃煮の発祥地でもあり、下の写真の「天安」は今でも営業を続けている。有名な「佃の渡し」は、昭和39年、佃大橋の完成に伴い廃止された。江戸時代の人足寄場で知られる石川島は、現在「大川端リバーシティ21」となり、超高層マンションが建ち並ぶ。

●佃島<天安>(昭和50年)



©東京都

# 日本橋

にほんばし

●日本橋(昭和27年)



©東京都

橋が架けられたのは、江戸幕府が開かれた慶長8年。翌年には東海道など五街道の起点と定められ、多くの人々で賑わった。現在の花崗岩製二連アーチ橋は、明治44年に完成したもの。橋柱の「にほんばし」の文字は、15代將軍徳川慶喜の筆である。



まち さん ぽ  
**街散歩**

**特別編**

**東京**

**いままで**

●新宿副都心<京王プラザホテル>(昭和43年)



©東京都

●新宿駅から三越通りを望む(昭和26年)



©東京都

●淀橋浄水場(昭和27年)



©東京都



関東大震災、太平洋戦争と二度も焼け野原になった新宿は、そのたびに新宿庶民のたくましいパワーで復興を遂げてきた。新宿駅西口にあった淀橋浄水場は、昭和40年東村山に移転。その広大な跡地に、次々と超高層ビル群が出現し、副都心に発展した。新宿東口は商業地として賑わい、現在もその名残を留めている。

**麻布**  
 あざぶ

●麻布十番 大通(昭和8年)



©港区立みなと図書館



麻布十番の商店街は、江戸時代、善福寺周辺の集落が時代とともにその東方に商業地として広がったものである。現在でも、老舗の商店が残り、山の手の有名な商店街の一つとして独特の賑わいを見せている。毎年夏に行われる「納涼まつり」は、今や東京の名物となっている。

# 渋谷

しぶや

渋谷駅の開業は明治18年。山手線開業当時の駅の一つであり、私鉄のターミナル駅としても歴史が深い。しかし、開業当時は田園地帯の中にあるのどかな駅であり、線路も地上に敷設されていた。北口交差点を左に上る坂道が道玄坂。現在は、高速道路により、その景観が一変している。

●大正末期の渋谷駅北口(大正9年以降)



©渋谷区立白根記念郷土文化館

●渋谷駅北口(昭和26年)



©渋谷区立白根記念郷土文化館



●道玄坂上(昭和13年)



©渋谷区立白根記念郷土文化館

# 台場

だいば

江戸幕府による鎖国中の日本で、江戸防備のために計画された海上砲台。半数が未完成に終わり、残された2基は、埋め立てにより周囲を陸地に取り囲まれ、お台場海浜公園となった。現在は臨海副都心と呼ばれ、オフィスビル、ホテル、商業施設などが次々と建設されている。また、東京湾にはレインボーブリッジが架けられ、鉄道も整備されている。

●お台場海浜公園から見るビル群(昭和63年)



©東京都

●お台場海浜公園(昭和62年)



©東京都

